

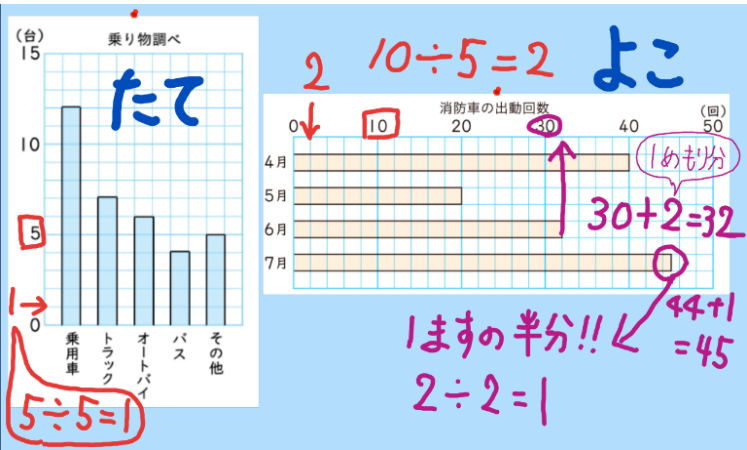


3年生 算数科「表とぼうグラフ」(3/9)

1. ねらい 棒グラフのいろいろな表し方を理解する。

2. 学習活動と ICT の活用

学習活動	ICT の活用
<p>1. 本時の習課題を把握する</p> <p>〈問い〉 昨日の棒グラフと、どんなところが違うでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 棒が横に並んでいる。 棒の順番が長い順になっていない。 1目盛りの大きさが違う。 	<p>○前時で扱った棒グラフと、本時で扱う棒グラフを並べて写し、比較しやすいようにする。</p> <p>(前時は縦の棒グラフ、本時は横向きの棒グラフを扱う。)</p> <p>★相違点に着目させ、横向きであることや数の多い順に並んでいないことに気付かせる。</p>
<p>2. 考える</p> <p>棒グラフのよみ方を考え話し合う。</p> <p>【個別】</p> <p>以下のことについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> どのような順に並べた棒グラフなのか。 1目盛りは何回を表しているのか。 それぞれの月の出勤回数は何回か。 <p>【共有】</p> <p>考えたことを話し合い、全員で確認する。</p>  <p>【個別】</p> <p>P. 81 たしかめ問題 2 と、杉ドリ 41 の練習問題を行い習熟を図る。</p>	<p>○デジタル教科書の棒グラフに書き込みをしながら、子どもの考えを可視化して確認・共有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 項目が順序性のある月ごとであるため、数が多い順に並んでいないことをおさえる。こういう場合もあることを伝える。 0～10の目盛りが5等分されているので、1目盛りの大きさは2であることを確認する。目的や扱う数量の大きさなどによって、1目盛りの大きさは変わることがある。 回数は横軸に書かれた目盛りで読み取ることが確認する。 <p>★1目盛りの大きさに着目して、棒グラフをよむことができる。</p> 
<p>3. まとめる</p> <p>キーワードを確認して、学習内容をまとめる。</p> <p>キーワード ⇒ 横むき、棒の順番、1目盛りの大きさ</p>	
<p>4. 振り返る</p> <p>本時の学習について振り返りを書く。</p>	

3. 成果 児童の気付きやおさえるべきことを画面に書き込んでいくことで、それを見ながら児童同士が教え合いの姿が見られた。また、「さっきはこうだったから同じように考えればいいんだ。」と、次の問題を考える際の手掛かりとして活用する姿が見られた。

4. 課題 今回は児童の実態も考慮し、教師の画面に児童の発言を整理しながら書き込んでいったが、今後は個人でロイロノートに考えを書かせたものを共有して、話し合いを進めていけるように授業を組み立てていく。